

令和4年度南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会、 育成者・指導者研修会及び子ども会大会【指宿大会】

令和4年12月3日（土）

指宿市開聞総合体育館において、地区内の子ども会員及び育成者・指導者等176人が参加して開催されました。

大会は、会場を広いホールで実施したり、健康チェック表を活用したりしながら、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施されました。

開会行事に引き続き、令和4年度全国子ども会連合会表彰として、南九州市の「両添子ども会」、令和4年度県優良少年少女団体及び地域高校生クラブ等表彰として、南さつま市の「金峰支部子ども会」と南九州市の「南九州市高校生クラブ」に、それぞれ賞状が伝達されました。

活動発表では、指宿市の渦口子ども会と森松西子ども会が元気に発表してくれました。コロナ禍で活動に制限があったのは残念でしたが、自分たちのできる範囲で工夫して活動することができたとのことでした。

育成者・指導者研修会では、講師に県教育庁社会教育課社会教育主事兼専門員の小菌正臣氏をお招きし、「だれのため、なんのため、子ども会」という演題で、講演を行いました。子ども会の意義、育成者・指導者の関わりなど、とても分かりやすくお話ししていただきました。

安全教育研修会では、講師の水流範明氏とジュニア・リーダーの水流愛奈さんに、本日の活動についての、KYT（危険予知トレーニング）に関する研修を行いました。

創作活動大会では、COCOはしむれのミュージアムティーチャーの指導のもと、「オリビン採集」を体験しました。砂の中から一生懸命にオリビンを探す子どもたちの姿が印象的でした。

大会の最後は、ボランティアでも活動されている3人組（木村氏、上久保氏、今瀬氏）による「リズムック・イングリッシュ」を行いました。音楽に合わせて物語の「三匹の子ぶた」を英語で読んだり、「Baby Shark」の歌に合わせて踊ったりするなど、子どもたちも楽しく活動していました。



【表彰の様子】



【活動発表の様子】



【小菌氏の講演の様子】



【安全教育研修会】



【オリビン採集の様子】



【リズムック・イングリッシュ】